

# キラッと☆スマイル 八戸ナビ

～No.15 特別養護老人ホームほっとハウス 介護主任 武石 真奈美 さん～

## 仕事の内容について

職員の勤務シフトの最終調整や他職種との連携、法人内施設との情報共有など、介護職員の統括業務を担っています。これまでは現場がメインでしたが、主任となった今は、部下、上席、利用者様とより多方面に目を向けることが求められるようになりました。

## 仕事で心掛けていること

管理職になると様々なことを聞かれるようになり、それに対して答えるためには日々勉強が必要です。分からないことは調べ、確認しながら学べば良いと考え、過度なプライドは持たないようにしています。また、現場のことは現場の人がよく知っているため、教わる姿勢も大切です。福祉の仕事をする上では様々なことが求められますが、調べることの大切さは部下にも伝えており、部下ともその都度答え合わせするようにしています。



社会福祉法人友の会  
特別養護老人ホームほっと  
ハウス 介護主任

たけいし まなみ  
武石 真奈美 さん

## 仕事のやりがい

サポートしてきた新人が自立した時や、福祉の未来の話をしてくれた時にはやりがいを感じますし、私も頑張らないといけないと思わされます。福祉業界は人材不足が深刻ですが、同じチームで働く職員の努力が実を結び、新人が自信を持って働けるようになるのは嬉しいことです。

また、利用者様との「手のふれあい」を大事にしており、例えば寒がりの方の手や肩甲骨に触れ、「あったかい」といったほっこりした言葉をいただき、喜んでいただいた時にも仕事のやりがいを感じています。

## 働きやすい職場環境

中規模な職場のため、職員同士近い距離で、部署や職種の垣根を越えて相談できる関係づくりができています。私も、「主任だから言いづらい」という雰囲気は作りたくないと考えており、何でも相談してもらえるような環境づくりを心掛けています。

また、育児休暇に関する情報についても、ポスターや研修などを活用することで職員に対して分かりやすく情報発信しています。前例ができる、実際に育休を取得した人の意見を吸い上げて次に取得申請する人へ説明することができるため、次に取得したい人へつながっていきます。育休に関する相談も、「取得しても良いか」だったものが「取得したい」に変化してきましたし、男性も積極的に取得しています。休むことを申し訳なく思う職員もいると思いますが、次に取得する人の味方となる強い存在、安心感につながるため、ぜひ取得してほしいと思います。



## 趣味について

昨年からソロキャンプを始めました。元々アウトドア系が好きで、家族ともキャンプに行っていました。子どもが大きくなるにつれて機会が減少。子育てが一段落したこと、コロナ禍で誰かと会うのも難しい状況だったことが始めたきっかけです。本当は子どもが進学して家を離れてから始めようと思っていましたが、家族の理解があり早く始めることができました。日頃から夫の協力があって家事や子育ても両立できており、理解を示してくれてありがたいです。

慣れないうちは、テントの組み立てやキャンプ料理など何でもやってみたいと思ってしまい、帰るとぐったりと疲れていましたが、改めてキャンプに求めるものを考えてみて、のんびりと過ごせるようになりました。また、仕事柄人と関わるが多いため、自分と向き合える良い時間でもあり、「一人でいるのも好きかも」と新たな発見もありました。



## 今後の目標

縁の下の力持ちとして利用者様と関わり、自分ができる支え方で安心していただけたらと思います。

また、女性が多い職場で、働いている世代も18歳から60代までと幅広いため、妊娠・出産時や更年期など、女性特有の悩みにも寄り添っていくことが大切だと考えています。これからも真摯に向き合っていきます。